

女性の活躍促進に取り組む ロールモデル経営体事例集

(抜粋)



女性の活躍促進に取り組むロールモデル経営体事例の一覧に関する注意事項

ロールモデル経営体事例の一覧では、経営体毎の女性の活躍促進の取組に関するポイントを3つ程度選定するとともに、取組の特長を以下の8項目から選択して整理した。なお、この取組の特長は、経営体毎の主な特長について選定しており、取組は実施していても○印の記載が無い場合もある。

【女性の活躍促進に関する取組の特長】

- ①女性役員・経営参画、②制度整備・福利厚生、③ワーク・ライフ・バランス、④労働環境整備、⑤トイレ・休憩室の整備、⑥キャリア形成、⑦適材適所(女性活躍の部門・分野)、⑧加工・販売部門あり

女性の活躍促進に取り組むロールモデル経営体事例の一覧

整理番号	市町村名	法人名・屋号	事業内容	農業従事者・役員数(合計)(人)	農業従事者・役員数(女性)(人)	女性割合(%)	キーワード	特長							
								女性役員・経営参画	制度整備・福利厚生	ワーク・ライフ・バランス	労働環境整備	トイレ・休憩室の整備	キャリア形成	適材適所(女性活躍の部門・分野)	加工・販売部門あり
1	半田市	市野園芸	イチゴの生産、狩り園、消費者直売、加工	23	19	82.6	働きやすい環境、ワーク・ライフ・バランス、狩り園・直売部門あり	○	○	○	○	○	○	○	
2	南知多町	信華園	鉢物の生産	20	17	85.0	ワーク・ライフ・バランス、福利厚生、職場環境の整備	○	○	○	○				
3	美浜町	農事組合法人鵜の味(2号法人)	生産、直売、加工、観光、飲食、作業受託	52	45	86.5	地元農村女性の加工技術、女性の所得向上、観光農園、体験農園での女性の感性の活用	○	○	○	○	○	○	○	
4	碧南市	(株)にいみ農園	トマト、キュウリ等の生産 消費者直売 加工品販売	48	38	79.2	女性役員、ワーク・ライフ・バランス、ホスピタリティー、販売部門あり	○	○	○	○	○	○	○	
5	西尾市	(合)酪	牛乳を使用した加工品製造・販売 加工作業受託 直売	6	4	66.7	女性役員、働きやすい労働環境、加工・販売部門あり	○			○	○	○	○	
6	一宮市	(有)角田ナーセリー	花苗・切り花苗・野菜苗の生産・卸	99	45	45.5	多様な勤務形態 女性専用のトイレ・休憩室 各種保険制度	○			○	○			
7	春日井市	(有)H&Lプランテーション	ハーブ・花・野菜苗などの企画・生産・販売	64	42	65.6	野外作業場のトイレの設置 休憩室とシャワー室の設置 育児休暇		○	○	○	○		○	
8	愛西市	(有)はす工房	農産加工、直売	12	12	100.0	働きやすい施設・機械 加工販売部門	○	○	○			○	○	
9	弥富市	(有)鍋八農産	水稲、小麦、大豆の生産、加工販売	25	11	44.0	適材適所、働きやすい施設、加工販売部門有り	○		○			○	○	
10	蟹江町	(有)みづほ園芸	鉢花の生産	18	12	66.7	適材適所、働きやすい労働環境、働く意欲のある女性の確保			○	○	○		○	
11	豊田市	(株)中甲	水稲、小麦、大豆、野菜等の生産 消費者直売	55	6	10.9	適材適所、各種制度の充実、働きやすい施設		○	○	○	○		○	
12	豊田市	うめこう桃梨苺園	イチゴ、モモ、ナシ等の生産 消費者直売 委託販売 加工品販売	15	13	86.7	ワーク・ライフ・バランス、夫婦二人三脚、パートタイマー活用	○		○	○	○		○	
13	豊橋市	宮野農園	イチゴの生産 直売・直販	12	9	75.0	女性を中心とした経営(イチゴ部門)、子育て中の従業員への配慮、働きやすい作業環境の改善	○	○	○	○			○	
14	豊橋市	(株)サンリーフ	コマツナの生産	33	30	90.9	福利厚生の整備、ワーク・ライフ・バランス、働きやすい施設・機械	○	○	○	○			○	

着色した経営体事例のみ掲載しています。

※平成30年3月作成

お客様に喜ばれるイチゴ園をいつまでも！



経営主、従業員と共に

屋号	市野園芸
市町村名	半田市
事業内容	生産（イチゴ）、狩り園、消費者直売、加工（ジャム）
経営規模	ビニールハウス170a、直売所66㎡
従事者数 (うち女性数)	従事者23名(うち女性19名) (家族従事者4名(うち女性2名)・パート社員19名(うち女性17名))

働きやすい環境、ワーク・ライフ・バランス、狩り園・直売部門あり

1. 経営概要

市野園芸は、知多半島のほぼ中央に位置する半田市で生産、直売、狩り園等のイチゴ経営を行っている。

狩り園を本格的に始めたのは平成4年で、イチゴ狩りの需要に合わせ、面積拡大をしてきた。出荷初期の11月中旬～12月20日は市場出荷で、12月20日以降はクリスマス需要等贈答用の販売が中心となり直売が始まる。

イチゴ狩りは12月中旬～5月下旬の開園である。品種は章姫で、年間約6万人の来園がある。知多半島のほぼ中央で、名古屋圏からの消費者にも交通の便がよく、今後も需要が多く見込めると経営主は考えている。狩り園はイチゴが安定的に必要で、お客様対応など、気を遣うことが多いが、お客様の笑顔を活力として経営している。



イチゴの直売所

2. 女性が活躍している部門等

生産部門においては栽培や収穫等、細かで繊細な作業が多く、また狩り園や直売所における販売等、お客様対応が重要であるため、パート社員のほとんどが女性である。

イチゴ狩りの時期は、イチゴ管理作業と直売や受付等の作業に分け、その他の時期は全員がイチゴの栽培に携わる。中には20年以上の女性パート社員もおり、経営主と共に新人を指導できる人もいる。

後継者妻は、労働力が不足している時、どの作業でも対応できるように、全ての仕事を経験し、あえて担当を固定していないが大切な戦力である。



イチゴの苗取り

3. 女性が活躍できるポイント

①女性の活躍に向けた職場環境の整備

休憩スペースを併設した快適な作業場及びほ場にトイレ等を整備し、働きやすい環境作りがされている。また、労災保険に加入し、社員が安心して働けるように配慮している。

②福利厚生状況

休日は週休1日制とし、お盆などは休みの希望にに応じている。また、親睦会を年2回実施する等、福利厚生も整えられている。

③仕事と家庭の両立支援の取組

育児や介護のための勤務時間短縮措置があり、出産後も働き続けられる等、女性がワーク・ライフ・バランスをとれる体制になっている。

④キャリア形成の取組

パート社員には長く勤め、経験を積んで技術を磨いてもらいたいと考えている。長期勤務者には、基本給に能力や実績に合わせてプラスする制度を取り入れている。

⑤制服の支給

濃いピンク色の「市野園芸」のネーミング入りポロシャツを支給し、イチゴ狩りや直売所に来た人の目に鮮やかでかつ、社員の意識統一にも役立っている。



市野園芸のポロシャツ

4. 今後の取組目標

今後もイチゴ狩りを主体とし、お客様にいつでも満足していただけるよう、規模拡大をしていきたい意向がある。

イチゴは女性や子供が好む商品であり、女性の感性を経営に取り入れることで、女性の活躍の場を増やし、経営主のイチゴ作りの職人技と後継者や後継者妻の新しい感性をうまく取り入れて、経営を伸ばしていきたい意向である。

女性の力が支える鉢物生産 もっとくらしに鉢物を！



経営主と女性従業員

屋号	信華園
市町村名	知多郡南知多町
事業内容	生産（花苗・観葉）
経営規模	施設10,000㎡
従事者数 (うち女性数)	従事者20名(うち女性17名) (家族従事者4名(うち女性2名)・パート社員16名 (うち女性15名))

ワーク・ライフ・バランス、福利厚生、職場環境の整備

1. 経営概要

信華園は、温室で花苗と観葉・多肉植物を生産している。先代が「フキ」等、さまざまな作物栽培をした後、今の鉢物経営にたどりついた。現在、花苗と観葉・多肉植物の割合は3：7で、花苗はカラーリーフを主に、観葉・多肉植物はヘデラ類や、グリーンネックレス等を栽培している。

主な家族従事者は経営主と経営主の両親の3人で、施設を1棟ずつ担当し、経営主の祖母は作業の補助を担当している。

経営主は市場勤務の経験があり、その人脈や経験を活かした経営に取り組んでおり、売れ筋商品の情報を得て品質のよい物を作り、高単価で販売できている。また、鉢物をインテリアとして利用することを提案し、インテリアショップを回り、配置や使い方を学ぶ等、新しい発想を取り入れた取組に挑戦している。



グリーンネックレス

2. 女性が活躍している部門等

経営記帳と労務管理は、経営主の母が担当している。労務管理はパート社員のほとんどが女性で、仕事と家庭の両立や女性の作業配置等、気配りが必要なため重要な分野である。

女性パート社員は若い人から60歳代まで年代も幅広く、作業は栽培から収穫・出荷調整まで多岐にわたり活躍している。パート社員の安全確保のため、複数制作業体系をとる等配慮している。

初めての人は簡単な作業から始める。経験に応じて段階的にキャリアアップさせ、勤務経験の短い人の指導も任せている。



信華園の経営主母

3. 女性が活躍できるポイント

①女性の活躍に向けた職場環境の整備状況

従業員の多くが女性のため、ほ場における休憩室やトイレが設置されている。休憩室には冷蔵庫があり、飲み物等も用意され快適な作業環境の整備がされている。

②制度設備、福利厚生の状況

就業規則を定め、健康診断も年1回実施している。親睦会は年に1～2回実施し、職場旅行も年に1回行っている。育児・介護休業も定め、いつでも戻る体制を整えている。

③仕事と家庭の両立支援の取組

育児期の若い女性が勤務しやすいよう、ゆとりをもった体制に配慮することで急な子供の病気や保育園の都合などによる休日も取りやすいようにしている。

④労働環境整備の取組

従業員の健康管理に常に配慮し、パートは複数で作業させる配慮がされている。

⑤キャリア形成の取組

長期のパート社員については新入のパート社員の作業指導ができるよう研修を行い、パート社員をまとめるキーマンとして効率的に雇用者を活用する体制を整えている。



女性ががんばる職場

4. 今後の取組目標

経営を任されて2年目の若い経営主が先代の経営方針を活かしつつ、新しい発想を取り入れながら経営を行っている。

「農業者は生産者であり、提案者でありたい」をモットーに世界情勢も見据えながら経営をしていきたいと思っている。鉢物業界は今後、女性の発想が重要で、今後も女性が活躍できる職場環境を整えていこうと意欲的である。

女性の力や技術を活かして羽ばたく「鵜の味」



寿司工房は鵜の味の稼ぎ頭

法人名	農事組合法人鵜の味
市町村名	美浜町
事業内容	直売所の運営、生産事業、飲食事業、ふれあい事業
経営規模	畑4.8ha、ビニルハウス8,500㎡、直売所356㎡、加工場30㎡
従事者数(うち女性数)	役員6名(うち女性1名)、正社員3名(うち女性1名)、パート43名(全員女性)

地元農村女性の加工技術、女性の所得向上、観光農園、体験農園での女性の感性の活用

1. 経営概要

農事組合法人鵜の味(以下鵜の味)は、2号法人として直売所の運営、生産事業、飲食事業、ふれあい事業等を行っている。

「田舎」でありながら名古屋から約1時間、中部国際空港から約30分という立地で、人口約2万5千人の町に年間約33万人を呼び込み3.3億売り上げ、地域経済で一定の役割を果たしている。

当地域は国の天然記念物「鵜の山鵜繁殖地」があり、鵜の恵みで農業が発展してきた。農園のキャラクター「うー助」は商標登録を取得済みで、看板や加工品にシンボルマークとして活用しブランド化を図っている。



農園のいちごを使ったジャム作りを体験した海外からの視察団

2. 女性が活躍している部門等

鵜の味の稼ぎ頭の寿司工房は10名の従業員全員が女性で、主力の押し寿司を始め、おはぎや餅など「鵜舞」(うまい←鵜が舞う地元のお米の意味。商標登録済)を使ったメニューも増え、飲食部門の売上の約6割を占めるまでになった。

切り餅は、もち米を組合員から仕入れ、餅に加工して付加価値をつけて販売。工房の女性従業員が土日平日問わず人気商品の味を支えている。



押し寿司と加工所

3. 女性が活躍できるポイント

①女性の活躍に向けた職場環境の整備状況

直売の販売担当には計算の煩雑さやミスをなくすため、早くからPOSレジやスポットクーラーを導入するなど女性が働きやすい環境を整えた。体験メニューの講師には生活改善グループで培った技術や知識を持つ女性の意見を積極的に取り入れている。

②制度整備、福利厚生状況

正社員には他産業並みの給与と賞与を支給する。パート従業員には食事や食材の現物支給も好評である。年1回の感謝祭では従業員も一緒になって楽しめる行事を工夫している。

③仕事と家庭の両立支援の取組

介護等家庭の事情があっても働き続けられるよう相談に応じ柔軟なシフトを組んでいる。20年超継続勤務リーダー的な役割を担える従業員が育成できた。

④労働環境整備の取組

効率よく気持ちよく働けるよう、特に寿司工房の設備は最新のもの揃え、安全にも配慮している。

⑤キャリア形成の取組

当初から女性の役員、正社員を置き、勤続10年の節目で従業員を表彰し、ねぎらうなど女性のキャリア形成を応援している。



ジョイフルファームの看板

4. 今後の取組目標

国内だけでなく、アフリカや中央アジアなどの国々からの視察団がイチゴ狩りなど日本の体験型の観光農園のモデルとして視察に訪れるようになった。今後は地元の観光ルートとして、日本国内外の世界の人々に農の楽しさを提供するエリアにする意向がある。

特に好評な体験メニューは、女性の知恵や技術が基本で、今後も女性の能力を活用した、農業と観光を融合した人を呼び込む仕掛けを進めたいと意欲的である。

食卓へ「夢」と「笑顔」をお届けできる農場を目指して



代表取締役と従業員と子供たち

法人名	株式会社にいみ農園
市町村名	碧南市
事業内容	生産（ミニトマト、トマト他）、消費者直売、直売所出荷、トマト加工品販売
経営規模	2.6ha（うち施設2.1ha）ミニトマト主体、直営直売所3店舗（本店、名古屋店、岡崎店）
従事者数（うち女性数）	従事者 48名（うち女性38名）（役員5名（うち女性3名）・正社員5名・パート社員38名（うち女性35名））

女性役員、ワーク・ライフ・バランス、ホスピタリティー、販売部門あり

1. 経営概要

(株)にいみ農園は、平成元年に新美康弘氏が水耕でミニトマト栽培、12年に直売を始め、にいみトマトのブランドで販売、妻のみどり氏（6次産業化ボランティアプランナー）が販売部門を担当する。夫婦で協力するパートナーシップ経営やオリジナル品種開発と生産管理体制が評価され、日本農業賞を受賞した。

時代に合わせて臨機応変に事業の方向性を変え、現在はあじ菜本舗（商標登録済み）として、トマト以外にキュウリやメロン、ネギ、ナスなどの生産直売で新たな経営の柱を立てているところである。

女性がいなければ、売上増加はなく、女性の能力を發揮させることにより、利益率の向上を図っている。



直売所本店

2. 女性が活躍している部門等

経理部門、販売部門は全て女性が担っている。生産部門でも女性が活躍しているが、正社員は男性のみである。しかし、生産部門での業務内容に正社員とパート社員の区別はない。そのため、女性が経理やチームリーダーなど、重要な役割を担っている。販売部門は、お客のほとんどが女性であり、接客は女性が優れているので、高いホスピタリティーを維持できている。

経営者は、観察力や細かく丁寧な作業など、女性の特性を活かすことが必要と考えている。

加工は委託しているが、次々に商品開発を行い、商材を増やしている。



ミニトマトと加工品

3. 女性が活躍できるポイント

①女性の活躍に向けた職場環境の整備状況

女性社員が8割と多くを占めるため、女性が働きやすい職場環境が整備されている。グループ制を導入することで、仕事を互いにフォローできる体制が整っている。

②制度整備、福利厚生状況

社食をランチ一食200円で始め、単身者や子育て中の忙しい主婦に好評である。

③ワーク・ライフ・バランス

四週六休制だが、農閑期は週休二日制とし、パート社員の休暇取得や労働時間の希望を取り入れている。育児のための短時間勤務制度がある。

④労働環境整備の取組

空調は店舗のみだが、農場内に広い休憩室や清潔なシャワールームがある。

⑤キャリア形成の取組

本人が希望すれば、いつでもパート社員から正社員への登用ができる。全体ミーティングで内部研修を行う他、希望すれば外部研修の受講も可能である。

また、生産部門と販売部門は、始めから振り分けて採用しているので、キャリア形成しやすい。

さらに、昇進昇格、時給アップは不定期に実施している。これには、社員毎に作業内容と労働時間をパソコンで管理し、明確な判断基準があり、面談により決定している。

4. 今後の取組目標

将来的にはキッズルームを設置する予定である。トマト以外の野菜や少人数向けのカット野菜など、消費者動向に合わせた商品開発を行っていく。長野県でトマトの栽培を始めたところである。

“価値の向上、感謝され、感動させる”の3Kに変える



役員と家族

法人名	合同会社酪
市町村名	西尾市
事業内容	乳製品の加工製造、生乳・乳製品販売、加工受託、直売
経営規模	チーズ0.5t製造、ソフトクリームミックス19t販売
従事者数 (うち女性数)	従事者6名(うち女性4名)(役員4名(うち女性2名)・パート社員2名(うち女性2名))

女性役員、働きやすい労働環境、加工・販売部門あり

1. 経営概要

(有)小笠原牧場と北村牧場の合同会社である酪は、平成21年、西尾市の「道の駅岡ノ山」オープンを期に、乳製品の製造・販売を開始した。

牧場では、生産した堆肥を茶農家に供給し、その茶園で生産された抹茶を乳製品に使用する循環型農業の実現、チーズづくり体験、酪農教育ファームとして酪農体験を受け入れたり地域の活性化と酪農への理解促進にも貢献している。

(合)酪がチーズとジェラートの加工と販売、北村牧場がプリン、ソフトクリームミックスの加工と棲み分けを行っている。

現在、名古屋市内の飲食店Milksへチーズ等の販路を広げている。

合同会社 酪の経営理念

- 酪は酪農を愛し、乳製品の価値の向上を目指す事業を行います
- 酪は地域を愛し、地域の活性化に貢献する事業を目指します
- 酪は人を愛し、組織の和を大切にし、人に感動を与え感謝される事業を目指します

2. 女性が活躍している部門等

役員・パート社員数は計6名と少ないが、役員2名以外は女性である。とにかく食はターゲットが女性なので、女性に優位性がある。実際に女性販売員の方が消費者の購買意欲をそそり、売上増加につながっている。そのため、イベント時人手が不足した場合には、(有)小笠原牧場と北村牧場から女性が販売員として出向している。

また、POPの作成やパッケージデザイン、新商品の開発などに、女性の感性が活かされている。



乳製品の数々

3. 女性が活躍できるポイント

- ①女性の活躍に向けた職場環境の整備状況
財務管理を女性が担当し、役員会(半数が女性)で経営状況について話し合う体制ができている。
- ②キャリア形成の取組
希望があれば、パート社員から正社員への登用が可能である。また、チーズ生産は、高度な技術を要するので、積極的に外部研修を受講させている。

＜小笠原牧場と北村牧場の取り組み＞

仔牛などの牛の世話、男性より観察力が高く、子育ての上手な女性の方が向いていると、役員が認識している。そのため、両牧場では、女性を積極的に雇用し、キャリア形成を支援している。それが、(合)酪の経営にも活かされている。



(合)酪のチーズを使ったメニュー

4. 今後の取組目標

乳製品の加工製造、販路拡大のため、女性社員の雇用を拡大し、女性の感性を活かした新たな商品開発を行っていく。

チーズ製造は奥が深く、多様なニーズがあるので、種類を増やし、販売量、製造量を増やしていく。

チーズ、ジェラート、ソフトクリームミックスの受託加工(OEM)を始めたので、今後も受託加工を増やしていく。

品質や新鮮さにこだわる飲食店へ、製品の販路を拡大していく。